



広報

人いきいき 自然とふれあう花の里

かんど

第248号 令和8(2026)3.12
神門コミュニティセンター

神門地区の人口

(令和8年1月末日現在)

前年同月増減

世帯数	3,359	+110
人口	8,547	+123
男	4,146	+56
女	4,401	+67

令和8年新年賀会

1月10日(土)、神門地区新年賀会を朱鷺会館において、関係諸団体、地域の皆さま71名のご出席のもと開催しました。

木代伸治自治協会会長から「神門地区は世帯数・人口が多いが、自治会加入率は低い。昨年、自治協会として自治委員を対象に自治会に関するアンケート調査を実施した。今後、その集計・分析を行い、地域のつながりのある神門地区にしていきたい」という趣旨の年頭の挨拶があった後、岸道三県議会議員、今岡久人市議会議員から祝辞をいただき、矢野英明神門地区監査委員会委員長の乾杯の発声で開会しました。

和やかな雰囲気の中、短時間ではありましたが、地域の多くの皆さまと交流を深めることができました。

最後に山田裕之神門地区青少年育成協議会会長の締めめの挨拶で閉会しました。
(神門コミュニティセンター)



消防出初式を開催して

出雲市消防団 神門分団

分団長 浅津敏彦

コロナ禍前までは毎年元旦におこなっていた神門分団としての消防出初式を、このたび久々に開催しました。予想以上の多くの方々にお集りいただいたおかげで、たいへんうれしく思いながら式を進行することができました。

出初式では、地域の安全と安心を祈念して一斉放水、有事の際は団員が結束して生命と財産を守るという意識を披露する通常点検、また、消防車両の乗車体験や今年の島根県消防操法大会(ポンプ車の部)に出場する選手紹介と選手代表の決意表明も行いました。皆さまにとっても神門分団にとっても良い年となる予感をさせる出初式になったと思います。



二十歳のことば

「感謝」

成人の日を迎えて



原田 統也
(北組)

これからは感謝の気持ちを持ち、その思いを言葉にして伝えながら、今度は誰かを支えられる立場になれるよう努力していきます。今後ともよろしくお願ひいたします。

はじめに、これまで地域の皆さまに温かく見守っていただいたことに心から感謝申しあげます。部活動や学校生活を通して、さまざまな経験をさせてもらいました。それは多くの人の支えがあったからこそだと、今になって実感しております。現在は就職し一人暮らしをしています。家を離れて生活する中で、いつでも安心して過ごせる環境が、決して当たり前ではなかったことに気づきました。



小村 百華
(保三)

人生における一つの節目を旧友や恩師と祝うことができた「二十歳あつまれ」の会を開いていただき、誠にありがとうございます。皆さまのご尽力により楽しく懐かしい時間を過ごすことができました。

私は現在地元を離れ、大学生として日々を過ごしております。一人暮らしを経験し、家事やアルバイトもしながら生活する中で、今まで私が楽しく過ごせたのは、支えてくれる家族の存在や地域の皆さまが近くにいる地元の温かさであると気づくことができました。私が無事に二十歳を迎えられたのは様々な方の支えがあったからです。家族や友人をはじめ支えてくださった方とのご縁を大事にし、一層精進して参ります。

二十歳を祝う集い「二十歳あつまれ〜」



ハッピークラブ

山本圭子

1月10日(土)、朱鷺会館にて「第13回二十歳あつまれ〜」を開催しました。

出雲市二十歳の集いが今年から午後の開催に変更されることに伴い、初めて式典の前日に行いました。当日は寒波襲来の中たくさん二十歳の皆さま、六年生当時の校長先生、担任の先生方にご出席いただきました。

先生方からは、当時の懐かしいエピソードを交えた愛あるお祝いのお言葉をいただき、ゲームにも参加して盛り上げていただきました。今回は服装を自由としていたこともあり、気兼ねなく移動して談笑したり、写真撮影したり、和気あいあいとした会となりました。「結束力のある学年だった」という先生の言葉通り、明朗快活な姿がとても頼もしく感じました。

地域の皆さま、関係者の方々にはご支援を賜りお礼申し上げます。二十歳の皆さまのご健康とご活躍をお祈りいたします。



神門地区総合文化祭

文化部部长 山本順久

令和7年度の総合文化祭は、11月8日(土)、9日(日)に開催しました。

保育園・幼稚園・小中学校・出雲西高等学校の園児・児童・生徒の皆さんや地区の皆さんの力作の展示に加えて、河南中学校吹奏楽部の皆さんには、演奏で華を添えていただきました。

神門地区ボランティアグループの「出前喫茶」、神門そばの会の「手打ちそば」、神門慶人会の「ぜんざい」、神門商工振興会の「まいもん市」の出店やかんど花と緑の会や地元の方々の「手づくり作品」、「リサイクル品」のフリーマーケットは、多くの人で賑わいました。また、ハッピークラブの「子ども縁日」や消防神門分団の「新しい消防ポンプ車」の展示・試乗には、多くの親子が集まり、子どもたちの歓声が会場に響きました。

コロナ5類移行後相当期間が経過すると言えども、未だ感染症に対する不安が残るなか、2日間の来場者数は延べ630名を超え、盛大に開催することができました。その運営にご協力いただきました皆さまに心よりお礼申し上げます。

神門コミュニティセンター

ホームページリニューアル

3月3日(火)にホームページをリニューアルしました。新しいホームページでは、地域コミュニティ活動の促進につながる情報提供を充実強化し、併せて、配布文書のデジタル化ニーズに対応します。

神門地区から発行される配布文書・回覧文書を原則として掲載します。今後、情報のアップデートに努めてまいりますので、どうぞご覧ください。

具体的には、自主企画事業の参加者募集や案内資料を掲載するとともに、当センターの施設を利用して自主的に活動し、新規会員を受け入れているサークルを紹介します。また、センターだより「さつき」や広報誌「広報かんど」のほか、

ホームページのMENU

- トップページ
- センターの概要・沿革・アクセス
- 施設紹介
- ニュース・お知らせ
- 月間行事予定
- 自主企画事業案内・参加者募集
- センターだより「さつき」
- 広報誌「広報かんど」
- 神門地区の配布文書
- 地区防災情報
- サークル活動紹介
- 地域の概要・特色

自転車置き場 竣工

自転車置き場の老朽化に伴い、1月20日より建て替え工事が行われていましたが、2月16日をもって完了しました。

工事期間中、自転車置き場、古紙リサイクルステーション、廃油回収ボックスの一時移設について、皆さまにご理解・ご協力いただき誠にありがとうございました。



子ども縁日

ハッピークラブ

11月9日(日) 参加者:40名



文化祭2日目に子ども縁日を開催しました。親子連れの参加者は射的、輪投げ、スライム作り、ぬり絵コーナーをスタンプラリーでまわって楽しみました。子どもたちの笑顔を見ることができて、とてもうれしく思いました。

わくわく探訪塾

地域学習部

サントリー天然水 奥大山ブナの森工場見学

11月28日(金)
参加者:33名

大山南麓の地下水を汲み上げ、おいしい天然水ができる製造工程について、工場の担当者から丁寧な説明を受けました。環境に配慮したペットボトル作りからボトリングや様々な検査を経て梱包・出荷されるまでの様子を見学しました。

ひとりでできるもん

青少年部

そば打ち体験 12月27日(土) 参加者:15名

神門そばの会の皆さんにご指導いただき、小学生を対象にそば打ち体験を行いました。のし棒を使って生地を薄く伸ばし、それをたたんで、そば切り包丁で細く切りました。出来立てのそばはとてもおいしく、子どもたちは何杯もおかわりしました。そば打ちを通して世代間交流も行うことができました。

コミセンの自主企画事業

スポーツゴミ拾い

健康スポーツ部

PICK UP GO

11月15日(土) 参加者:29名



「ウォーキング」と「ゴミ拾い」にクイズやゲームも取り入れて、小学生から80歳台までの参加者は4コースに分かれ、晩秋の地区内を楽しく歩きました。出雲西高のインターアクトクラブの皆さんにも協力いただき、ふだん目につかないゴミも意外に多いことに気づかれました。

みんなの運動教室

健康スポーツ部

レッツゴーけん玉

7月31日(木)、8月21日(木)
8月26日(火)、9月6日(土)
10月18日(土)、11月29日(土)
参加者延べ:76名



年末の紅白歌合戦恒例の「けん玉」は、集中力と反射能力の向上や健康増進、体力向上につながるスポーツです。脳を鍛え、学力向上や認知症予防にも効果があります。日本けん玉協会島根県支部から講師を招いて、幼児から高齢者まで多くの参加者がありました。

板垣 幸子様(野中道江)
知井宮町(真幸ヶ岡)
(令和7年11月25日
～8年2月3日)

馬路 耕司様(智行)
知井宮町(町北)
浅津 隆義様(節子)
知井宮町(両下)
新宮 啓史様(陽哉)
下古志町(上北中央)

藤江 昌憲様(富子)
神門町(沖中)
《香典返し》
ご遺族の皆さまからご寄付いただきました。 (カッコ内は故人)

神門地区の皆さまから丁寧なるご寄付を賜り、厚くお礼申しあげます。

神門地区へのご寄付



お誕生おめでとう

(知井宮町 中組)

第43回神門地区

班対抗卓球大会

スポーツ協会 常任理事 岡田 聡

第43回神門地区班対抗卓球大会を11月16日(日)、出雲西高等学校体育館をお借りして行いました。

参加者は27歳から79歳の38人でした。前回の大会の結果に基づいて、Aグループ(3班・4班・6班)、Bグループ(1班・2班・5班)の2グループに分かれ班対抗リーグ戦を行いました。

ラージボール卓球2種目(ダブルス1、シングルス1)、硬式卓球3種目(ダブルス1、シングルス2)の計5種目で、それぞれ熱戦が繰り広げられました。成績は次のとおりでした。選手の皆さま、お疲れさまでした。来年度も多くの皆さまのご参加をよろしく願っています。

【成績】

- Aグループ
 - ☆優勝 6班
 - ☆準優勝 4班
 - ☆3位 3班
- Bグループ
 - ☆優勝 5班
 - ☆準優勝 1班
 - ☆3位 2班



小学生から大人まで

力を合わせて走った

駅伝カーニバル

スポーツ協会 常任理事

駅伝監督 錦織三郎



1月18日(日)に開催された第2回出雲市駅伝カーニバルに出場しました。

第1走者の小学生が勢いよくスタートを切り、第3区の女性区間では中学1年生が年上ランナーに囲まれながらも堂々とした走りを見せてくれました。

成人区間では40代・50代の4名が、1キロまたは1.5キロの周回コースを全力で駆け抜け、最後の力を振り絞ってタスキをつないだ姿がとても印象的でした。

結果は23位という結果でしたが、地元から応援に駆けつけてくださった方もあり、自治会の団結が光る大会になったと感じています。選手・地域の皆さま、ありがとうございました。



- | | | | |
|-----|------|-----|------|
| 第1区 | 佐野陽向 | 第4区 | 勝部利通 |
| 第2区 | 錦織三郎 | 第5区 | 梶谷房生 |
| 第3区 | 遠藤穂乃 | 第6区 | 原良介 |

神門コミュニティセンター

合同視察研修

足立美術館&小泉八雲記念館

11月20日(木)、運営委員会・事業委員会・専門部の合同視察研修に14名が参加しました。

足立美術館では、本館の開館55周年記念「心に響く日本画55選」、魯山人館のコレクション、晩秋の日本庭園、新館の現代日本画をゆっくりと鑑賞しました。

一方、小泉八雲記念館では、ラファディオ・ハーンとセツの生涯や思考の特色、「怪談」が生まれた背景などを学びました。



「小泉八雲記念館パンフレット」より

両施設の視察を通して、交流を深めながら、今後の地域コミュニティ活動について意見交換しました。

煤払いと交流会(裁判員裁判の話)

12月16日(火)、事業委員会、専門部の皆さんに協力いただき、館内外の普段手の行き届かない箇所の一掃の汚れを落としました。空気が綺麗になったようで、新しい年を迎える準備ができました。

その後、交流会では、裁判員裁判経験者の布野雅歳さん(真幸ヶ岡)から裁判員登録通知・最終抽選、公判の流れや判決に加えて、実際の裁判の様子について伺いました。

重大な刑事裁判に関わる精神的負担などの課題もありますが、経

験者からは「評議は話しやすい雰囲気、自分の意見もしっかり言えて、貴重な経験であった」という肯定的な感想も多いそうです。自分や家族がいつ裁判員に選ばれるかわからないなか、裁判員のやりがいを知り、参加することへの不安を和らげる良い機会となりました。



かんど再発見 (No.96)

朱鷺物語(4)



巣台上で寄り添うトキ (写真提供：出雲市)

て候補に挙がっているようである。なかでも稗原地区は冬季の餌資源の量でも水質においても好成績を示しているようで、出雲市における第1回放鳥の候補地になっているという。

先般、稗原地区野尻町内の知り合いに出会った折に、立ち話ではあったが、トキ受け入れの準備の様子を尋ねたら、野尻では耕作放棄地を山際に集めて、広い用地として、30センチほど掘り深めて池とし、トキの餌となるドジョウやタニシを飼うのだそうで、すでにかかなりの量が放されているということだった。

出雲村田製作所、島根島津(株)、島根富士通などの名だたる企業がビオトープづくりに乗りだし、トキ放鳥の候補地に選ばれようと無農薬農業への復帰をめざしているというのは嬉しいことである。

参考資料等
*ビオトープ
野生の動植物が生態系を保って生息できる天然や人工の池、湿地、あるいは水槽などの環境
(神門ヒスタム顧問 森山晃兆 令和8年1月記)

出雲市が環境省からトキの分散飼育地の指定を受けた平成20年、「トキ分散飼育センター」を設置して、積極的にトキの繁殖に取り組み、すでに60数羽を産卵・成長させて佐渡の空へ返すことができている。佐渡では中国から贈られた「友友」の子孫

は佐渡産や分散飼育で生まれたトキを合わせて500羽を超えたとの報告があった。「新潟日報」令和6・7・25)。しかし、環境省は鳥感染症の流行を恐れて、佐渡以外の地での放鳥をめぐりして拡大をはかっている。令和8年度は石川県において、同

9年度に出雲市において放鳥を実施しようとする準備をすすめている。出雲市の当局では係員を佐渡に派遣し放鳥への研修を済ませているという。出雲市内の森林や水場・餌場の状況を調査して、稗原・神門・神西・佐田などの地区が放鳥の適地とし

これとトキの放鳥について、今ひとつ願いがあがる。現在トキ放鳥の取り組みが人里から離れた営巣地と餌場という関係で成り立っている。トキは人に慣れやすい鳥類と理解している。これが市民と接する場を持っていないのか。現在の「トキ分散飼育センター」の西隣には「しまね花の郷」の池がある。また少し西方に「真幸ヶ丘公園日本庭園」にも鯉や鮎の遊ぶ池がある。桜・藤・アジサイ・紅葉の時節には来園者も多い。岡山市の後楽園に遊ぶ「丹頂」が親しく市民と接しているような風景に近づけないものか。

●追記
祝！環境省が出雲でのトキ放鳥を令和9年に行うと決めた。
(山陰中央新報 R8・2・10)

お知らせコーナー

○神門地区用排水路一斉清掃
実施日 4月5日(日)

○自治協会 総会
開催日 4月19日(日)
場所 神門コミュニティセンター

○社会福祉協議会
総会・福祉委員研修会
開催日 4月24日(金)

○神戸川一斉清掃
開催日 4月26日(日)
場所 神門コミュニティセンター